

2025 年 10 月 21 日

各位

株式会社三井住友銀行

ジャパンリアルエステイト投資法人への
「サステナビリティ・リンク・ローン」の実施について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕/以下、「三井住友銀行」）は、ジャパンリアルエステイト投資法人（執行役員：加藤 譲/以下、「JRE」）に対し、サステナビリティ・リンク・ローン（以下、「本ローン」）による支援を実施いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手のサステナビリティ戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、「SPTs」）を設定し、貸出条件と SPTs に対する借り手のパフォーマンスとを連携させ、SPTs 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動及び経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

JRE は、2001 年 9 月に J-REIT として日本で初めて東京証券取引所に上場を果たした、首都圏のオフィスビルを主な投資対象とする投資法人です。JRE は、環境、社会、ガバナンスへの取り組み強化を通じて、社会の持続可能性（サステナビリティ）向上に取り組んでいくことが、上場投資法人として期待されている社会的責務であり、投資主価値の最大化を図る上でも不可欠であると考えております。JRE が設定したマテリアリティ（重要課題）には「気候変動対応」や「ポートフォリオの環境配慮」が含まれ、これらに紐づく環境関連の目標（KPI）が設定されています。

今般、JRE はこうした取り組みを加速させるべく、JRE が策定した「サステナビリティ・リンク・ローン・フレームワーク」（以下、「本フレームワーク」）に基づき、サステナビリティ・リンク・ローンを調達いたしました。本フレームワークでは、JRE のマテリアリティに紐づく KPI のうち「CO2 排出量（総量ベース）削減幅：2030 年度目標 80%削減（2019 年度比）」が SPTs として採用され、サステナブルファイナンスの活用により、より実効性のある取り組みの実行につなげていくことが企図されています。本ローンでは SPTs 達成への動機付けとして、SPTs の達成度合いに応じて金利条件が連動する貸出条件が設定されています。

尚、本フレームワークは、国際金融業界団体である LMA（Loan Market Association）、LSTA（Loan Syndications and Trading Association）及び APLMA（Asia Pacific Loan Market Association）にて策定された「サステナビリティ・リンク・ローン原則」、環境省にて策定された「サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」において求められる項目について基準を満たしているとの第三者意見を、株式会社日本格付研究所（JCR）より取得しています。

三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成にも一層貢献を行ってまいります。

【本ローンの概要】

契約締結日	2025 年 10 月 15 日
貸付実行日	2025 年 10 月 17 日
貸付人	三井住友銀行
契約期間	8 年/10 年
契約金額	40 億円/40 億円
SPTs	2030 年度における CO2 排出量 (総量ベース) を 2019 年度実績比 80%削減、及び、これに沿った中間削減目標

(参考)

ジャパンリアルエステイト投資法人ホームページ：

<https://www.j-re.co.jp/>をご参照ください。

株式会社日本格付研究所（JCR）による第三者意見：

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>をご参照ください。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

法人戦略部 サステナブルソリューション室

TEL：03-4333-6965

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。